



かみかわ町

# 議会だより

No. **82**

令和8年  
6月1日発行

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

令和8年

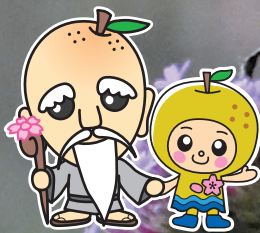
**3**月

**定例会**

令和8年度の新規事業 ..... P.2~4

6名の議員が一般質問を行う ..... P.5~8

議会活動報告 ..... P.12



表紙の写真

アゲハチョウとお花

📷 撮影 フォーカス友の会 舟山 俊策さん

表紙シリーズ 町内の風景写真

## 議会の傍聴について

第3回定例会は6月

**4** 日(木) [午前9時~ 一般質問等] から

**12** 日(金) [午前9時~ 質疑・討論・採決等]  
を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。



議会が注目

# 令和8年度新規事業

## 1 学校統合に係る閉校事業

予算額 410万円

令和9年3月31日をもって閉校する神泉小学校の閉校式典のほか、交流事業、記念碑、記念誌などの事業を実施します。



## 2 小学校冷水機導入事業

予算額 31万円

近年の猛暑による小学校児童の熱中症対策及び水分補給のため、各小学校に冷水機を導入します。



## 3 「活樹」による地域の好循環事業

予算額 1,019万円

樹木粉碎機等の導入により裁断、積込み、運搬作業を効率化することが可能となります。処理工程で薪にできる部分については、ゴミから燃料資源への転換が図られます。



## 4 JR八高線第2八日市踏切拡幅工事

予算額 5,866万円

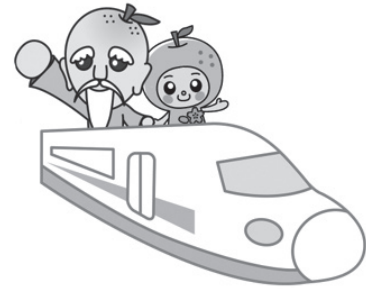
第2八日市踏切は神川中学校への通学路にもなっていますが、現在は踏切内に歩道の設置がなく、生徒や歩行者の安全な通行に支障をきたしています。踏切の拡幅工事を行うことで、歩車の分離ができ、通行時の安全が守られるようになります。



## 5 新幹線定期券購入補助(通勤・通学)

予算額 480万円

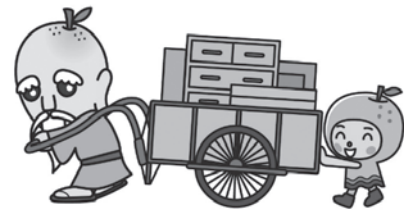
神川町に居住の方で、新幹線を使って通勤・通学する場合の新幹線定期券の購入費に対し上限2万円を補助します。



## 6 子育て世代移住支援金事業

予算額 900万円

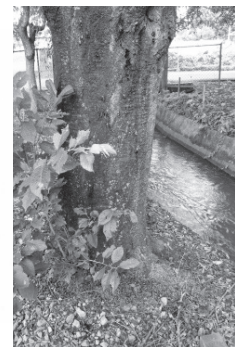
子育て世帯の移住定住を促進するため、町外からの移住世帯で、転入後5年以上継続して居住し、18歳未満の世帯員がいる世帯に対し30万円を支給します。



## 7 クビアカツヤカミキリ対策事業

予算額 100万円

特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害拡大を防止するため、被害木の伐採や薬剤防除を行う方に対し上限10万円を補助します。



## 8 住宅等防犯対策補助金

予算額 50万円

防犯意識向上と安全安心なまちづくりを推進するため、住宅等において防犯対策に要した費用に対し上限2万円を補助します。



## 9 高齢者補聴器購入費助成事業

予算額 50万円

町内に住所を有する65歳以上で、中等度難聴と認める医師の意見書のある方へ、管理医療機器と認定された補聴器の購入費用に対し2万円を補助します。



## 10 地域おこし協力隊を活用した移住・定住促進

予算額 251万円

地域おこし協力隊制度を活用することにより、神川町の魅力を全国へ発信、移住定住促進と地域活性化を目的とするものです。

### 議会活性化特別委員会について

3月定例会にて、議会活性化特別委員会が設置されました。

議会基本条例の策定を目的とし、議会の役割や運営の在り方を見直しながら、公正で透明性の高い議会運営の確立を目指すとともに、町民参加の促進や情報公開の充実を図り、議会機能の強化と活性化を推進するための特別委員会です。

議会活性化に向けて、11名の委員に議長をオブザーバーとして加え、議会が一丸となって取り組んでまいります。

### 議会活性化特別委員会研修会

令和8年3月31日（火）に、『議会基本条例について～基礎編～』をテーマに、関東学院大学法学部地域創生学科教授の牧瀬稔氏による講演を受け、議会基本条例は単なる理念の整理ではなく、議会の役割や責任を明確にし、住民に開かれた議会を実現するための「実効性あるルール」であると強く感じました。

特に、情報公開の徹底や住民参加の仕組みづくりの重要性、議員一人ひとりの説明責任の重さについて具体的に学ぶことができました。

また、条例は制定して終わりではなく、運用と検証を繰り返すことで議会改革を継続していく必要がある点が印象に残るとともに、今回の講習を通じて、自らの議会活動を見直し、より信頼される議会づくりに取り組む必要性を改めて認識しました。





# 町政を問う ～ 一般質問 ～

令和8年第2回定例会は、3月4日から18日までの15日間の会期で開かれ、町政に対する「一般質問（※1）」の他、町長から提案された令和8年度一般会計及び特別会計の当初予算8件や、補正予算9件をはじめ、条例改正6件、人事案件等11件を審議し、原案のとおり可決・同意・承認しました。

また、選挙管理委員会及び補充員の選挙、決議1件並びに議員提案の意見書1件も可決されました。

なお、陳情書1件は採択され、1件は不採択となりました。（議案一覧及び審議結果は9ページ以降をご覧ください。）

どの質問に興味がありますか？

P.8	P.8	P.7	P.7	P.6	P.6	P.6	P.6	P.6
下水道の将来像	町政運営	神川町の知名度向上	住民の健康増進と地域コミュニティの強化	こども医療費代行申請	地域福祉の推進	包括的性教育の理解	聞こえの確保による認知症予防の取組	子育て支援策の拡充

## 「一般質問」とは（※1）

議員が町の施策、将来展望等の説明を町長などに求め、適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページの神川町議会からも閲覧できます。





川浦 雅子 議員

**Q** 子育て支援策の拡充

**中学生の修学旅行費は**

修学旅行も授業の一環であるため、中学校修学旅行費の保護者負担軽減に取り組む考えがあるか伺う。

**A** 教育長答弁

修学旅行は、生徒が見分を広め、マナー等を養う極めて教育的意義の高い行事である。一方で、保護者の経済的負担が重いことも認識して。今後、財政状況を勘案しながら研究する。

**Q** 聞こえの確保による認知症予防の取組

**補聴器購入費助成を**

高齢者の生活の質向上と認知症予防の観点から、老人性難聴者の補聴器購入助成制度が必要と思うが、町の考えを伺う。

**A** 町長答弁

県内でも導入する自治体が広

がっているもので、町では令和8年度新規事業として、補助制度導入に係る予算を計上している。また、調整が必要なこと等、購入時の注意点も周知する。

**Q** 包括的性教育の理解

**人権を学び性暴力から住民を守る**

SNSの普及により、性に関する誤情報が増える中、人権・多様性の尊重等を基盤とした「包括的性教育」を学ぶ必要性を感じている。町民の身体と心の健康維持のために、理解を促める取組について伺う。

**A** 町長答弁

令和8年度は、コスモスマツリ会場で全世代を対象にミニユースクリニック開催を計画している。ジェンダー平等や暴力等を含めた知識習得の場を検討する。

**A** 教育長答弁

ユースクリニックを事前希望制により中学校内で開催し、互いの生命、人権を尊重し、適切な判断、意思決定に基づく行動選択力を育成している。

今後、大人から子供まで、幅広い性教育に関する正しい情報から学ぶ機会を提供する。



新井 太一 議員

**Q** 地域福祉の推進

**地域での支えあいの強化を！**

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域全体で支える体制強化が重要である。特に、介護保険で対応しきれない生活支援や制度対象外の方への支援には、地域住民や関係団体との連携が不可欠であり、社協等の役割は極めて重要である。これまでの町と社協等の取組、その進捗・成果・課題の評価を伺う。

**A** 町長答弁

町では生活支援コーディネーターを中心に独居高齢者訪問を行い、必要に応じ介護保険や福祉制度、社協事業につなげていくが、本人の意向や担い手不足で利用が進まない課題がある。今後は高齢者増加を見据え訪

問強化と担い手確保を図り、地域包括ケアのもと関係者と連携し支援体制の充実に努める。

**Q** こども医療費代行申請

**県境地域のこども医療費助成の課題**

県境に位置する神川町では、埼玉県内は現物給付で窓口負担が不要ですが、受診の多い群馬県内では償還払いとなり保護者に負担が生じている。申請代行制度も申出制で周知不足があり、十分活用されていない。県境地域の実情を踏まえ、協定拡充や現物給付化、運用改善について町の見解を伺う。

**A** 町長答弁

県外の医療機関では償還払いとなり保護者の負担となっている。町では医療機関と協定を結び申請代行制度を実施しており、現在20か所以上と締結している。今後も協定拡大と周知に努めつつ、現物給付化については、国や県の動向を踏まえ対応していく。



# 一般質問



柴崎 愛子 議員

## Q 住民の健康増進と地域コミュニティの強化

### 健康長寿に繋がるニュースポーツの導入の可能性

冬季オリンピックピックの日本選手  
の素晴らしい活躍を受け、特に  
カーリングに注目していたが、  
氷上のスポーツのため、地域で  
の実施は難しいと感じていた。  
ところが、神奈川県伊勢原市  
の老人クラブの皆さんが、漬物  
石をストーンに、コートは農業  
用防虫ネットで手作りし、楽し  
んでいる様子がテレビで紹介さ  
れた。

この取組は、健康増進や小中  
学生の好奇心を高めるとともに、  
幅広い年齢の人達が参加でき、  
コミュニティの活性化に寄与す  
るものと考えられるが、スライ  
ドストーンゲームを導入する考  
えがあるか伺う。



出典:神奈川県伊勢原市老人クラブ連合会HP

## A 教育長答弁

提案いただいたスライドスト  
ーンについては、漬物石や防虫  
ネット等を活用し、安価に、し  
かも気軽に楽しめる興味深いニ  
ュースポーツであると承知して  
いるが、町では既にスライドス  
トーンに類似したフロアカーリ  
ングやモルック、ボッチャなど  
のニュースポーツの普及促進に  
努めている。

スライドストーンの導入につ  
いては、今後の検討課題とする。  
また、学校授業への導入は、ほ  
かのニュースポーツとの兼ね合  
いを考慮しながら検討する。



坂本 貴佳 議員

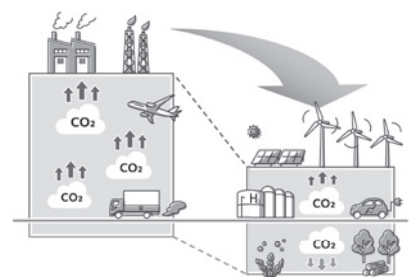
## Q 神川町の知名度向上

### 脱炭素化で神川町の知名度向上を

神川町の知名度向上策として、  
CO<sub>2</sub>削減を軸にした施策を提  
案する。

自動車排ガス対策としてEV  
・PHEV等の普及と充電設備  
拡充が必要と考えるが、現状は  
台数・インフラとも十分とは言  
えず、補助制度の周知強化や官  
民連携による整備が必要である。  
加えて、公共施設へソーラーパ  
ネル導入を進め、再生可能エネ  
ルギー活用による電力費削減と  
脱炭素化を図るべきである。

これら施策を迅速・先進的に  
推進する事で、カーボンニュー  
トラルへの挑戦としてマスコミ  
の注目を集め、使用電力量の削  
減、災害時の電力確保につなげ、  
神川町の知名度向上に寄与する  
と考えるが町の考えを伺う。



## A 町長答弁

町では2050年までのゼロ  
カーボン達成を目指し、省エネ  
設備等設置を支援する補助金制  
度を設け、町・町民・事業者が  
一体になりCO<sub>2</sub>排出量削減の  
取り組みを行っている。

公用車については更新時期を  
迎えた車からEV車等に転換し、  
充電設備も補助制度の活用可能  
性を含め検討する。公共施設へ  
の太陽光発電設備の導入は過去  
には見送ったが、今後は改修整  
備時期等において費用対効果も  
含め前向きに検討する。

環境負荷低減と財政健全の両  
立を見据え、神川町のブランド  
力向上と持続可能なまちづくり  
を目指す。



野口 弘吉 議員

Q 町政運営

町政運営と2期目のスタートにあたっての推進施策について

令和8年2月より櫻澤町政の2期目がスタートする中で、町長は、持続可能なまちをスローガンに、子育て支援、健康長寿環境、防災対策、開かれた行政など、地域住民の連携が重要になってくる旨を訴えた。

そこで、令和8年度の予算案について、持続可能なまちの実現のために優先して取り組みたいと考える推進施策について伺う。

A 町長答弁

教育環境整備については、保育料、給食費無償化の継続、認定こども園整備、小学校統合準備等、更なる充実を図る。

デマンド交通実証実験や高齢

者の生きがいづくりでは、デマンド交通の利便性向上を図るため、停留所の増設や高齢者等の運賃割引を行う。

空き家対策として新たに空き家実態調査を実施し、遊休農地解消、地球環境、防災対策でも、更なる充実を図る。

持続可能なまちづくり実現については、地域おこし協力隊制度を活用した移住定住促進事業の他、新幹線通勤通学補助事業、子育て世帯移住支援金事業を実施する。

持続可能で明るく活力ある神川町になるよう、施策の実現に当たる。



福島 康弘 議員

Q 下水道の将来像

次世代のための備え

下水道の将来像について、神川町の特定環境保全公共下水道事業は生活環境の向上と公共用水域の保全を目的に整備されてきたが、供用開始から約20年が経過し、管渠や処理施設の老朽化対策、機械設備の更新投資が課題となっている。

人口減少や高齢化により使用料収入の減少も予想され、財政状況は厳しい。今後は事業継続や段階的縮小、合併浄化槽への転換など複数シナリオを比較検討し、将来の方向性を整理する必要がある。



A 町長答弁

本町の下水道事業は、渡瀬地区の特定環境保全公共下水道と元原・熊野堂地区の流域関連下水道として進められてきたが、人口減少による使用料収入の減少や物価高騰による維持管理費の増加で経営は厳しい。一般会計からの繰入金割合が大きく、使用料のみで経営を成り立たせることは困難である。

特定環境保全公共下水道事業の20年先を見据え、施設更新による事業継続だけでなく、費用負担の観点から事業の方向性を検証し、将来の財政負担を踏まえた持続可能な経営を目指して事業を運営していく。

## 3月定例会議案一覧及び審議結果

	議案名等と主な内容	審議結果
町長提出議案	神川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 学校医等の報酬について、近隣自治体との均衡を保つための条例改正。	○
	神川町職員の給与に関する条例及び一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部を改正する条例 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 子ども・子育て支援法改正により、少子化対策強化を財政面から支えるため、所要の改正を行う。	△
	神川町立幼保連携型認定こども園設置に伴う関係条例の整備に関する条例 神川町立幼保連携型認定こども園設置に伴う関係条例の整備を行う。	○
	神川町公民館条例の一部を改正する条例 公の施設の使用料の均衡と受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行う。	○
	神川町城峯公園条例の一部を改正する条例 安定的な施設運営のため、使用料金の改定を行う。	○
	令和7年度神川町一般会計補正予算（第7号）	○
	令和7年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○
	令和7年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○
	令和7年度神川町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○
	令和7年度神川町営バス事業特別会計補正予算（第2号）	○
	令和7年度神川町観光事業特別会計補正予算（第3号）	○
	令和7年度神川町水道事業会計補正予算（第4号）	○
	令和7年度神川町下水道事業会計補正予算（第3号）	○
	令和8年度神川町一般会計予算 神川中学校への空調設備整備やJR八高線の第2八日市踏切の拡張、さらに高齢者の補聴器購入助成をはじめ、安全で快適に暮らせるまちづくりのための予算を計上。歳入歳出総額それぞれ68億6,100万円と定める。	△
	令和8年度神川町国民健康保険特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ14億3,858万9千円と定める。	△
	令和8年度神川町後期高齢者医療特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ2億1,003万4千円と定める。	△
	令和8年度神川町介護保険特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ11億3,375万7千円と定める。	△
	令和8年度神川町営バス事業特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ2,122万8千円と定める。	○
	令和8年度神川町観光事業特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ1,537万9千円と定める。	○
	令和8年度神川町水道事業会計予算 第3条予算の収益的収入を3億525万3千円、支出を3億201万1千円と定め、第4条予算の資本的収入を7,570万円、支出を1億4,080万4千円と定める。	○
	令和8年度神川町下水道事業会計予算 第3条予算の収益的収入を1億7,052万2千円、支出を1億3,937万4千円と定め、第4条予算の資本的収入を4,906万円、支出を1億115万4千円と定める。	○

※【審議結果】○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

## 3月定例会議案一覧及び審議結果

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	副町長の選任につき同意を求めることについて 副町長、金子亨氏の任期満了（令和8年3月31日）に伴い、町長から再任案が提出され、満場一致で同意される。	○
	監査委員の選任につき同意を求めることについて 飯島正文氏の任期満了（令和8年3月18日）に伴い、町長から再任案が提出され、満場一致で同意される。	○
	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて 齋藤里江氏の任期満了（令和8年3月23日）に伴い、町長から再任案が提出され、満場一致で同意される。	○
	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて 設楽一男氏の任期満了（令和8年3月23日）に伴い、町長から再任案が提出され、満場一致で同意される。	○
	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて 田村巖氏の任期満了（令和8年3月23日）に伴い、町長から穂山要樹氏の推薦案が提出され、満場一致で同意される。	○
	工事請負契約の締結について 神川中学校体育館空調設備及び非常用発電機設置工事について、契約を締結する。	○
	辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画について 辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき、矢納辺地に係る総合整備計画を定める。	○
	神川町過疎地域持続的発展計画について 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第44条第4項の規定により本計画を定める。	○
	神川町平和のまち宣言について 神川町が世界の恒久平和の実現を願い、非核三原則の遵守と核兵器の廃絶を、町民と共に訴えていくため宣言する。	○
	町道路線の廃止について 町道管理の整合性を図るため、町道から廃止する。	○
	町道路線の認定について 町道管理の整合性を図るため、町道として認定する。	○
	令和7年度神川町一般会計補正予算（第8号） 事業完了が翌年度に及ぶ事業を、自治法の規定に基づき繰越明許として設定する。	○
選挙	選挙管理委員の選挙について 地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選により満場一致で選任される。 【選挙管理委員4名】小川静男氏 藤田昌男氏 小島健司氏 秋山英二氏	○
	選挙管理委員補充員の選挙について 地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選により満場一致で選任される。 【選挙管理委員補充員4名】伊藤勝行氏 櫻澤芳江氏 柴崎紀夫氏 櫻澤輝夫氏	○
議員提出議案	議会活性化特別委員会設置に関する決議について 議会基本条例の策定に係る集中審議を行うため、議会活性化特別委員会を設置する。	○
	美里町の埼玉県議会議員選挙区を北第3区から北第2区に戻すことに関する意見書 児玉郡及び本庄市が同一の選挙区となるよう、見直しを要望する。	○
陳情	町道1351号線延伸及び舗装工事 総務経済常任委員会は「全会一致」で採択し、本会議も採択となる。	○
	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書 総務経済常任委員会は「全会一致」で不採択とし、本会議も不採択となる。	×

※【審議結果】○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

## 各議員の賛否の状況(全員賛成の議案等を除く)

議案名等と各議員の賛否 賛成：○ 反対：×		1 剣持真菜美	2 新井 太一	3 四方田繁男	4 林部 葉月	5 福島 康弘	6 川浦 雅子	7 野口 弘吉	8 坂本 貴佳	9 堀川 光宣	10 赤羽奈保子	11 坂田 弘	12 柴崎 愛子	審議結果
町長提出議案	神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	可決
	令和8年度神川町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	可決
	令和8年度神川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	可決
	令和8年度神川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	可決
	令和8年度神川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	可決

※－ 赤羽奈保子議長（議事進行）は採決に加わりません。

## 活動報告

### 児玉郡町議会議員 後期研修会

「議会が行うべき政策議論・政策提言とは何か～データに基づく児玉郡の現状と課題について～」と題し、地方公共団体政策支援機構の渡辺太樹氏より講演をいただきました。

町の課題や議会が取り組むべきことなど、グループワークも交えての研修で改めて私たち議会の役割の大切さ、また、議員のあり方を学び直す機会となりました。



### 第2回神川町議会と青小6年生が神川町の未来について語り合う会

令和8年1月21日(水)に青柳小学校6年生による総合的な学習の時間において、神川町の未来について議員と語り合う会が開催されました。

児童はこれまでの調査や話し合いを基に、町の魅力や課題を踏まえた「神川プラン」を発表。議員は各グループに分かれ、質問や助言を行いながら意見交換を行いました。

児童達が地域を自分事として捉え、主体的に未来を考える貴重な学びの機会となっていて、私達大人が刺激を頂きました。



### 新規事業研修会

3月12日(木)、議場にて、各課の担当者から、令和8年度の200万円以上の新規事業を中心に、事業内容の説明を受けました。

議員からは、事業の目的や疑問などに対して質問があり、今後のまちづくりを検討していくうえで、大変有意義な研修となりました。

## 議 会 活 動 報 告

### 総務経済常任委員会

令和8年3月10日(火)総務経済常任委員会を開催し、執行部から建設課職員の出席を求め、現地では陳情者立合いのもと、四軒在家地内の「町道の舗装についての陳情」1件を慎重に審査しました。執行部からは「町全体の優先順位を考え検討したい。」との説明があり、採決の結果採択いたしました。



また、「政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書」について、総務課の出席を求め審査しました。当町における現状も確認しながら、慎重審議の結果不採択といたしました。

また、「政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書」について、総務課の出席を求め審査しました。当町における現状も確認しながら、慎重審議の結果不採択といたしました。

### 文教厚生常任委員会協議会

令和8年3月11日(水)神川中学校においてユースクリニックを視察しました。

本事業は昨年に続き2回目の開催となるもので、中学3年生全員を対象に、身近に相談できる場の存在を周知するとともに、正しい知識の習得を目的として実施されています。講演内容を踏まえ、避妊や性感染症予防に関する展示を見学し、フェムテックコーナー、避妊コーナー、キラキラケースコーナー、書籍ブースにおいて、ユースクリニックスタッフから説明を受けました。



実際に見て学ぶ機会となり、理解促進に有意義な取組であると感じました。



スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。

9月定例会は、9月4日(金)から開催予定です。



#### 編集後記

紫陽花の花が雨に映える季節になりました。今号では3月定例会での予算審議や、新規事業について詳しくお伝えしています。また、3月議会では「議会活性化特別委員会」も発足されました。

これからも「開かれた議会」を目指しながら頑張ってまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

(赤羽奈保子)

#### 議会だより編集委員会

- ・委員長 新井 太一
- ・副委員長 剣持真菜美
- ・編集委員 野口 弘吉
- 福島 康弘
- 赤羽奈保子

